

伊勢神宮



夕張市医師会
中條医院

中條 俊博

北海道医師会の皆様、明けましておめでとうございます。今年は亥年とのことで嫌な予感がしていたが、北海道医師会からの原稿依頼がやはりきた。年男、年女の中から無作為に選んだとのこと、しかも還暦らしいが、自分では全く自覚が無い。日本ではイノシシだが、他の中国、韓国、台湾、香港等では豚年である。日本に干支が伝わった頃は豚は馴染みがなく、猪になったらしい。猪の方が少しは勇ましく思えるが、豚年はお金が貯まると言われておりそちらに期待したいものだ。

原稿を書いている今は11月。夕張の素晴らしい紅葉も終わり、あとは雪を待つばかり。今年の秋は暖かく、いまだに雪が降っていない。稀勢の里も連敗している。今年9月には胆振東部地震があったが、早2ヵ月経過した。先週、ブラックアウトが流行語大賞にノミネートされている。わが家も以前使用していた診療所がかなり被害を受け、一部解体も検討している等、震災も身近に感じられた。

天皇陛下の譲位に伴い平成が最後の年になったが、私は新しい元号の年に還暦を迎えることになった新元号は何になるのか楽しみである。

過日、天皇家も参拝する三重県伊勢市にある伊勢神宮を訪れる機会があった。「お伊勢さん」と親しく呼ばれる伊勢神宮は、天照大御神を祀る内宮と豊受大御神を祀る外宮をはじめ、14ヵ所の別宮、43ヵ所の摂社、24ヵ所の末社、42ヵ所の所管社の計125の官社全てで神宮といい、一般的に有名なところは内宮である。参拝には順番があり、まず地味な外宮から参り、内宮へ参拝する。美しい鳥居と宇治橋を渡るとそこは太古から続く御神域が広がり、深い木々に包まれ参道を進むと、とても奥ゆかしい気持ちにさせてくれる。2000年もの歴史をもつ神宮には平清盛、足利義満、松尾芭蕉など数多くの歴史上の人物が参拝し、その中でも戦国時代を代表する武将、織田信長は、永禄12年（1569）10月5日に外宮、翌6日には内宮を参拝した記録があるそうだ。ポイントは伊勢神宮内宮御祭神の“天照大御神”は日本神話で誕生経緯が伝えられている。日本書紀では、この御子は輝くこと明るく美しく、天地四方の隅々まで照り輝いた、と伝えられるように、生まれながらにして照り輝く非常に尊貴な形で生まれた。また世界の隅々までその光で照らす性質ゆえに、天上の送り天界の統治者として任命された。古事記では、禊祓の中で左目を洗うことで天照大御神が誕生し、高天原を統治するように任命。天照大御神は最高神

としての位置づけであった。よってパワースポットとしても有名で全国、世界から年間1000万人あまりの参拝者が訪れている。日本の神社の頂点であり北海道神宮もその系統でただ出雲大社は別の存在であるらしい。

新元号になっても、伊勢神宮へ、天照大御神にパワーをもらいに訪れてみたい。

最近の動物園について考える



札幌市医師会
JA北海道厚生連

札幌厚生病院

赤池 淳

新年明けましておめでとうございます。寄稿依頼を頂き内容はお任せとのことでしたので、最近の動物園事情について書いてみたいと思います。

アラフィフのわれわれ世代が子供の頃は、動物園と言えば檻の中に入った動物がほとんど寝ていたり、どこに動物がいるのか分からないくらい隠れていたり、もの寂しげな動物が多かった印象です。しかしながら最近の動物園は旭山動物園に代表される行動展示が主流となり、動物本来の行動や生活が見られ、子供も大人も楽しめる娯楽施設になっていると思います。私が住む札幌の円山動物園も毎年施設が充実し、来年には約20年ぶりに象が導入されるとのことです。動物園なんてしばらく行ってないという方も、たまのお休みに出かけてみてはいかがでしょうか？童心に返って結構楽しめると思いますよ。

さらに最近では全国各地に体験型・ふれあい型なる動物園も増えてきています。札幌市南区の定山溪温泉手前にある某動物園では、カンガルーやワラビー、カピバラなどに直接触れることができたり、ヘビをマフラー代わりにしてみたり、キリンやライオンにまで餌をあげることができます。ワオキツネザルが私の頭の上に乗ってきたときにはさすがに驚きましたが…。わが家は親子共々動物が大好きなので、年に1回は必ず行く場所となっています。都会に住んでいて動物になかなか触れ合えない私たちにとっては非常に楽しめるひとときなのですが、動物愛護的にはどうなのかな？と少し心配になったりもします。また、モルモットやひよこを潰す勢いで触っている子供、その自分の子供を注意しない親を見ると、モラル欠如を感じてしまいます。わが家の娘たちはどうかというと、姉妹げんかは激しいものの動物には優しく接してくれており、親としては少しホッとしております。

とりとめもない話を書いてしまいましたが、ヒトと動物が仲良く共存できる環境を動物園運営サイドが作ってくれることを願い、文章を終わりにしたいと思います。